

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成23年12月12日  
審査機関名 SGSジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	山陽色素株式会社東海工場におけるボイラー更新プロジェクト
排出削減事業者名	山陽色素株式会社
排出削減共同実施事業者名	中部電力株式会社
事業実施場所	山陽色素株式会社東海工場 (静岡県掛川市大淵1456)
事業の概要	本事業は、A重油焚きボイラーから高効率のLNG焚きボイラーへ更新する事業である。
	2011年度：248tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計248tCO <sub>2</sub> /年)
国内クレジット認証期間	開始日 2012年 1月5日 終了予定日 2012年 3月 31日
排出削減方法論	方法論番号001 ボイラーの更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

### 3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：山陽色素株式会社東海工場 静岡県掛川市大淵1456</p> <p>事業実施サイトの視察日付：2011年9月28日</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2排出量の削減を目的として実施されたことを関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能なこと 排出削減事業を実施せず設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地における関係者への質問及び設備稼働にて確認した。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数は4.3年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。また投資回収年数の算出については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 本事業はA重油価額変動への対応と環境負荷へ低減が目的の1つであり、通常の投資判断基準を超え投資決定に至る事業ではない。しかし、本制度参加により環境に配慮した活動の普及と環境意識の高さを広くアピールできることが、事業実施の一因になったことを現地インタビューにて確認した。事業者においては、更新前設備のCO2排出量が多く、環境配慮意識からCO2排出を減らしたいと考えていた。また、本事業者は環境省自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)にも参加しているが、当初からJVETSと国内クレジット制度の活用を意図していることを現地インタビューにて確認した。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、本実施事業所が自主行動計画に参加していないことを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論001に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>「方法論001」 適用条件1：既存のボイラー設備よりも高効率のボイラー設備に更新することを仕様書にて確認した。</p> <p>適用条件2：ボイラー設備の更新を行わない場合、事業実施前のボイラー設備を継続して利用できることをヒアリング及び設備稼働にて確認している。</p> <p>適用条件3：事業実施後のボイラー設備で生産された蒸気を自家消費することを現地インタビューにて確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

### 4. 特記事項

・特記事項なし

以上